



ファミリー・ビジネス・シンポジウムのご案内

本年のファミリー・ビジネス・シンポジウムは、例年のシンポジウムとは少し趣を変え、「壊すFB、創るFB」－林原の危機と長瀬産業の挑戦－というテーマにて、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスとの協働により ORF (Open Research Forum <http://orf.sfc.keio.ac.jp/>) の1コマとして、参加資格を限定しないオープン形式でプレゼンテーションを実施いたします。

セッション内容のご紹介：「壊すFB、創るFB」－林原の危機と長瀬産業の挑戦－

ビジネスの継続は、「危機との対話」と言い換えることができるかもしれません。長寿企業とは、その対話の数において他の追随を許さない存在です。しかしながらその危機を、すべて自力で乗り越えてきた企業は稀でしょう。不世出の将棋名人、大山康晴氏は「助からないと思っても助かっている」という言葉を残しました。

また、ビジネスは見方によれば勝負事と同じく、勝ちと負けの繰り返しでもあります。負けが致命傷にならなければ、またやり直すことができます。今回 FBNJ は、「壊すFB、創るFB」というテーマで、経営危機を迎えた林原と、救済に乗り出した長瀬産業の事例を取り上げます。私たちはこの事例に触れ、ファミリー・ビジネスの継続には、いかに「乗り越えるか」、という要素が不可欠だということを思い知らされました。

そして、このような事例にライブで触れることができる機会はめったにありません。更に言えば特に傷ついたビジネスがその事例の研究・発表を許諾してくださる機会はまずありません。この事例研究・発表を可能ならしめたのは、事例研究をご快諾いただいた林原健氏と慶應義塾大学の伊藤妃実子氏との地道な交流です。今回のシンポジウムは、伊藤妃実子氏と長瀬産業長瀬洋社長にご登壇いただき、対話形式でセッションを行います。

是非皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますよう心よりお願い申し上げます。

【開催概要】

- 日時： 2013年11月22日（金曜日）16:00 から 17:30 まで
会場： 東京ミッドタウン ホール&カンファレンス
参加資格： オープンセッションのため、参加資格はございません
参加費用： 無料

問合せ先： FBN 事務局
E-mail: fbn-tokyo@gtjapan.com
Tel: 03-5770-8814